



むろらん 市政だより

毎月一回 発行 室蘭市 編集 総務部庶務課 印刷 室蘭印刷KK

- ◇市功労者24人を表彰……………1頁
- ◇室蘭の回顧と将来を語る座談会②…2、3頁
- ◇市庁舎増築完成……………4頁
- ◇安全都市宣言市民大会開く…5頁
- ◇上水道四拡工事始まる…………6頁
- ◇青少年科学館の建物完成……7頁
- ◇住居表示案きまる……………”
- ◇初入学児童の受付……………8頁

市功労者を表彰



写真は上段右から表彰された猪股、牧田、大場、児玉、高野、森川、上田、田中、山口、松本、今井、尾崎、和田、島田、小林、熊谷、佐々木、山口(定)、増田、原田、神、鎌田、中村、高野(淑)の各氏

猪俣さんら二十四人

多年の功労をたたえる

菊香る文化の日、十一月三日に恒例の市功労者表彰式が新装なつた市議場で行なわれ、公益功労者の猪俣さんら二十四人に市長から(市長は議長から)表彰状と功労章、記念品が贈られました。ことし表彰されたかたは、公益三人、教育一人、市議会議員十一人、市長一人、監査委員一人、固

受賞者氏名 (敬称略)

- ◎公益功労者
 - 猪俣 昇 (市消防団第二分団部長)
 - 牧田芳太郎 (元市消防司令長)
 - 大場 彦一 (市消防士)
 - ◎教育功労者
 - 児玉健五郎 (室蘭商業高等学校教諭)
 - ◎市議会議員功労者 (十六年)
 - 高野 次郎 森川 明
 - 上田 甚蔵 田中 芳男
 - 山口 政一 (八年)
- ◎市職員功労者
 - 神 セツ 鎌田 質文
 - 中村 秀雄 高野 淑種
 - ◎農業委員功労者
 - 増田 一 原田 佐市
 - ◎固定資産評価審査委員功労者
 - 山口 定吉
 - ◎監査委員功労者
 - 佐々木栄生
 - ◎市長功労者
 - 熊谷 綾雄
 - ◎市功労者
 - 松本 猶一 今井 武男
 - 尾崎光一郎 和田 正志
 - 島田 辰雄 小林 要平

製鋼、製鉄所設立で港勢も伸展

司会(谷村) 製鋼、製鉄両会社ができてから、室蘭の出入貨物が多くなり、近代的な施設も発達しましたが、猪股さんに当時の室

開港90周年、市制40周年記念座談会 伸展する室蘭の回顧と将来を語る

③ 大正時代からの変遷

蘭産業海運について:

猪股 いまから六十年くらい前ですが、井上角五郎さんの先代が室蘭で海運業をしました。昔は、製鋼所さんの仕事を橋崎さんがやっていたようですが、くわしくはわかりません。

司会 橋崎さんは大正七年ころ

で、非常に伸びたそうです。

石原 大正五年に栗林合名会社が大阪の八馬(はちうま)から第五多聞丸(二千トン)を買い、福市丸という名前にかえて王子製紙の紙を積みだした。それが始めて室蘭における船の所有者として第一回だそうです。盛んだったのは大正八年今の栗林商船が栗林商會に別れたころです。

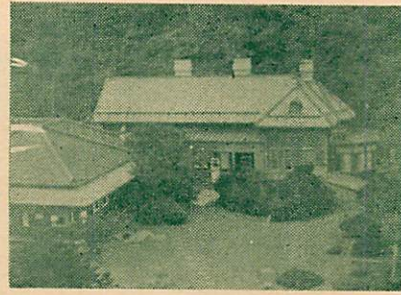
大正天皇ご来蘭 『瑞泉閣』でさる

司会 工藤さんは、製鋼、製鉄会社が出たころこちらに:

工藤 明治四十三年の六月に室蘭尋常高等小学校にきました。当時の戸数は六千六百三十七戸、人口二万七千九百六十八人、学校の児童数は千九百九十六人、十八学級でした。この室蘭学校は、前の年に、成徳学校を、その前の年に武揚を分離したので、本校といっておりましたが、私のきた年に四教室百四十坪を増築して、工費は、四千二百四十五円十八銭、坪当り三十円でした。

翌四十四年九月五日に大正天皇が皇太子殿下としておいでになり、弘坂でお迎えました。夕方突然に、明日学校を参観するということがあり、それから全職員が夜通しで廊下、教室と全部掃除する一方、参観授業の人選、教案など大騒ぎをして翌日お迎えしました。参観授業も無事に終り、教員室で全職員が拜えつしましたが、殿下の特別のおぼしにより、お写

真もとってお送りしたわけですが。立花 いまお話しの大正天皇のおやどとして、今の瑞泉閣ができたわけですね。



日 鋼 瑞 泉 閣

築港事業、輪西村など合併、区制に

司会 いよいよ区制施行になる

わけですが、大正七年に輪西村ほか二ヶ村を併合して区制が実施され、築港事業が始まりました。これは当時の北海道長官俵孫一が室蘭の築港事業に力を入れていましたがそのためには一つの湾を囲んで二つの自治体があるのは、将来のためにもよくないということで、合併を勧奨したわけで、当時室蘭の戸平均の税負担が年額十円七十銭に対し、輪西は八円八十五銭しか負担していないというアンバランスな状態にもかかわらず、合併にふみ切ったということ、当時の有力者は偉かったと思います。それから何といっても問題は築港だったんですね。

中村 この合併については、築港事業もありましたが、港湾行政上二つの自治体があると非常に不便なものがあり、昔の港湾法も今の港湾法も同じですが、地方の自治体に諮問をしなければならぬわけで、室蘭は合併して非常に都合がよかったです。

とにか、このような港湾行政上の不便をほらいのけ、大正七年七月七日起工式が行われ、同時に区制施行祝賀会も開かれました。昭和二年に南北両防波堤ができ、第二期工事として南防波堤の曲った部分(六百尺)、あれば、始めまっすぐ延長されることになっていきましたが、曲げるにより幌崩、本輪西方面に入る波が緩和されるというので曲げたわけですね。

岸壁工事は道内で室蘭が始めて

港湾工事で一つ自慢になることは北海道で岸壁工事ができたのは室蘭がはじめなのです。これは、大正十二年の春に栗林五朗から話があり、それならば室蘭の防波堤のケーソンをそのまま使った方がよいという意見を私が出し、相当の料金を貸して、ケーソンを使って岸壁を作る申請を出しました。この認可は、非常に寛やうすい大震災の前日、大正十二年八月三十一日でした。

中村 港湾工事のついでに、ちょっと話しておきますが、始まったのは第一次大戦のあと、室蘭では石炭の積み込みが活発になったため、築港で一番困ったのは労働の供給でした。ここで忘れられないのは加藤藤太郎君で、当時は二十幾つかの青年でしたが、毎年青森へ行って何千人、何百人もの優秀な若者をつれてきてくれました。ほんの僅かなあつせん料で加藤君は労働の供給をして、くれたわけ、築港史上大へん功績だったと思います。その次に、石炭荷役でコンベアーを使うのが始まったのは、大震災復興のために石炭輸送が活発になったとき、室蘭港には滞船が非常に多くなり、そこで、岸からすくはなれたところに防波堤用のケーソンを二つもつてきてローダーのパワーをつくり、そのケーソンに船を横づけしたところ、炭破鉄道の高架橋の附近は、少し盛ってあるが、埋立地のそばは水深が一メートルいなのでこれを堀らなければならず、この水深をどうするかということで築港事業で三十六万立方メートルを堀りました。これは、築港のケーソンに使う材料をとりたいたという野心がありました。埋立地に石をとらせろという交渉をし、磯村さんも承諾、コンベアー、ローダーは

このようにしてできたものです。

震災当時と不況時の海運業界

司会 震災の話が出ました。海運界のほうは……

石原 私が入ってまもなくで思い出があるんです。当時は船に無線電信がないので全然様子がわからないんですよ。ところが、当時の三村警察署長（のちに胆振支庁長）が、東京は大変だから室蘭から米味噌、しょう油を満載して運んでくれという話がありました。しかし、当時カムチャッカなどの沿海州方面に出していたので、六十隻くらいの船がありました。が、室蘭に満載するだけの物もないというので、函館などに連絡して若干送った記憶があります。その時の連絡は、日高丸という船に無線をつけて、仙台と東京の無線を

出席者（順不同敬称略）

- 港湾功労者 中村 康次
- 開拓関係者 鶴田伊太郎
- 栗林商会専務 添田 竜男
- 橋崎産業専務 石原 直樹
- 農業関係者 猪股 俊雄
- 富士製鉄庶務課長 喜屋啓三郎
- 日鋼総務課長 森田 輝成
- 教育、社会関係 木下 新吉
- 室蘭市民報社長 星田久仁男
- 室蘭工科大学長 大坪喜久太郎
- 胆振支庁長 立花雄四郎
- 室蘭開発建設部長 堂垣内尚弘
- 室蘭開発会社専務 齊藤 方郎
- 商工会議所専務 田中 秀雄
- 市側、市長、助役、記念事業
- 総務委員、総務部長

とったもので

石原 震災後四日くらいたって内務大臣後藤真平が食糧は全部東京へ送れという指令の出ているのがわかりました。それを新聞にのせなければならぬということ。こんどは新聞巻取に積みかえたこともありますが、そんなことで非常に忙しかった。しかし、大正十二年頃からだんだん不景気になり昭和五、六年までの八年間というものは、どうにもならず、我々も月給を返すとか、三年も四年も上らないで苦労しました。

豊富だつた漁獲 マグロ一頭五円

司会 市制施行当時につる前に喜屋さんに話を、発動機をおやりになったのは……沿岸漁業

のさかなな時ですね。

喜屋 四十三年前です。あのころは、魚も非常に豊富でした。その後、釧路から出漁船団が室蘭にきて、五十隻をこえたこともありまして。これは市制施行当時です。その後、昭和十六年に室蘭港に食糧をおかないという行政指導があり浦河に移されたこともありましたが……

私は小樽から虎杖浜に住居を構え、底曳船を始めるようになってから室蘭にきました。噴火湾内ではずいぶん漁があり、マグロ、イワシなども、どんどん入り、マグロ一頭五円くらいで、東京に売ったこともありませう。

助役 わたくしも、五、六十貫の大きなマグロを五円くらいで買った記憶があります。

市制施行当時の躍進の過程

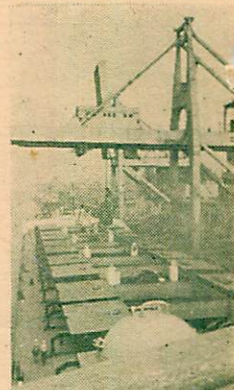
日鋼、富士鉄の飛躍

司会 大正十一年八月一日に市制施行になりました。鶴田さんは初代の市会議員ですね。

鶴田 そうですね。

司会 回顧談ばかり多くなりましてが、市制施行当時から今日に至るまでの躍進ぶりをひとつ……

星田 私の方の会社は兵器の生産が設立の目的でしたので、戦争の影響が非常に大きく、大正七年



富士鉄のマンモス埠頭

万六千トンくらいの鉄鉄を出していました。市制施行当時は、不景気で下って約四万トンくらいのものでした。鉄鉄をくらべますと、現在百七万トンの能力をもち、まったく感慨無量です。参考までにその当時と今とを比較しますと、工場敷地は十二万坪が八倍強の約百万坪に、従業員が約千人から一万人に、社宅も百六、七十戸だったものが、現在六千戸という飛躍ぶりです。なお、大正十一年ころはもっぱら鉄鉄だけでしたが、現在では鋼塊、線材、あるいは鋼材もできる鉄鋼一貫作業に変ってきたということです。

五百トンで、それが現在のマンモス埠頭ですと一時間千トンもの能力があり、荷役力は非常に発展したといえると思います。

司会 商工関係の躍進ぶりを……田中 市制施行後の大正十三年に商業会議所が創立され、昭和三年になってから、商工会議所になっております。このあいだ市内の商工業者から、選挙によって商工会議所議員が出ることになりました。大きなのはもちろん、日鋼、富士鉄ということになります。そのほかは、昭和三年に、実業会、そのあとには、商工協会というものもあり、福利厚生施設からレクリエーション、政治活動などもやっています。

海運業、商業関係

司会 海運界その他のお話しを森田 農業生産では、牛乳が一番成長率が高いと思いますが、当時二百五十トンが、現在は二千石をオーバーしております。

石原 港湾関係では、私の方の室蘭埠頭株式会社、当時は室蘭埋築株式会社として王子製紙が株主、資本金七千万円で、主に木材鉄鉄を扱うため作られたわけです。猪股 私の経験からは、荷役力が格段の差ですね。富士鉄には、

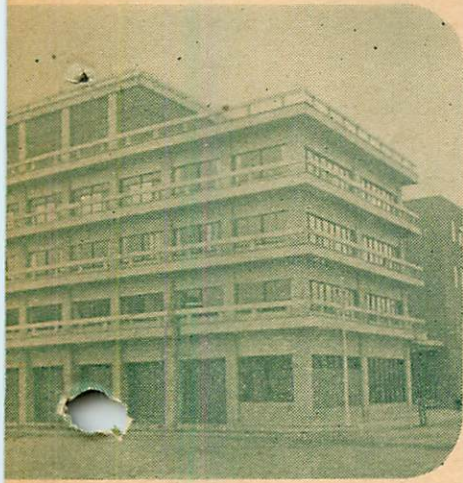
司会 室蘭は、終戦前まで栗林さん以外に倉庫のない港でした。倉庫がないと、倉庫業についてなにかはわかりませんが、昭和二十三年に市の主として、商業、工業の発展に貢献するため、私どもの会社（室蘭開発会社）がつくられました。当時約一千万円の資本金がいま二億円になっておりますのでそうとう進展しているものと思

(続)

(議事堂と消防庁舎)

市庁舎の増築完成

各課の配置もかわりました



増築中の議事堂、消防庁舎が十月三十一日完成しました。鉄筋づくり地下一階、地上四階(一部中五階)建て、望楼の高さは三十米、面積三千八百四十九平方メートルで、工費は一億五千万円です。

一、二階が消防関係、三、四階は議公関係が入り、議場は廊下で囲まれ、無窓式の防音装置です。また、正午の時報も一日からサイレンをやめ、望楼から「ウエストンミンスタ一の鐘」「銀波」の美しいチャイム放送を流しています。

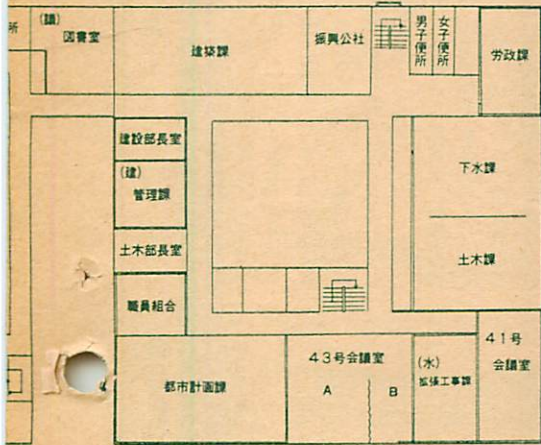
これで、市の庁舎全部ができ上り総面積は九千九百九十二平方メートルになりました。なお、各課の配置も別図のようにかわりました。

市政日誌 (10月)

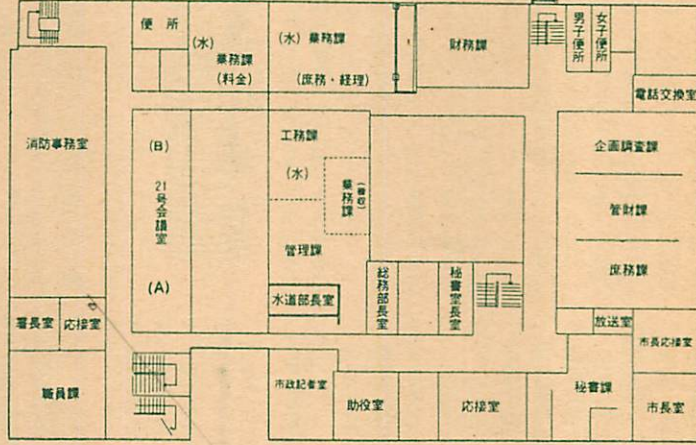
- 1 日教育委員会定例会
- 2 日第四回市施設見学会
- 3 日参議院運輸委員来庁
- 5 日下水道終末処理場起工式
- 6 日先住民慰霊碑除幕式
- 9 日第二回市議会臨時会、議会運営委員会
- 10 日上水道第四期拡張工事起工式
- 11 日総務常任委員会
- 14 日えとも学園第一回運動会
- 16 日民生委員総務会
- 17 日秋の火災予防運動(~23日)
- 25 日工場適地調査室蘭地区委員会
- 27 日ハンガリー公使来庁
- 30 日新産業都市建設特別委員会
- 31 日農業委員会、議事堂及び消防庁舎、青少年科学館完成

市庁舎各課ご案内

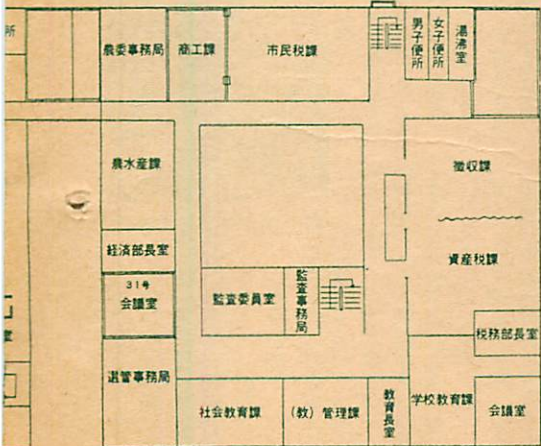
4階平面図



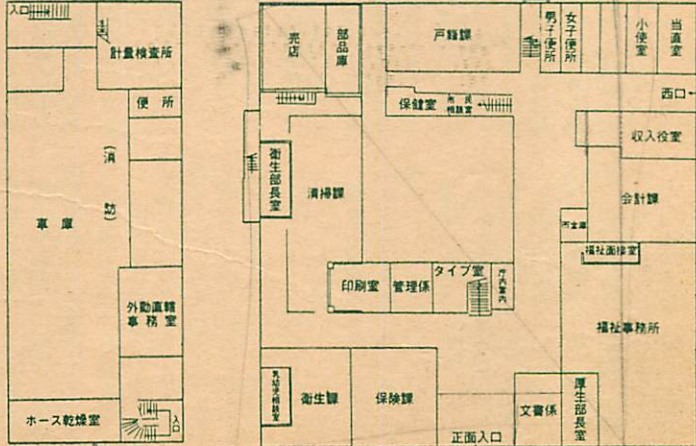
2階平面図



3階平面図



1階平面図





明るく 住みよい
安全都市

三百人が参加市民大会開く

推進委員 全市あげての運動を 会を設立

市は、さきにあらゆる災害のない安全都市を宣言しましたが、一日市立労働会館で、推進委員会の設立総会と安全都市宣言市民大会を開き、全市をあげての運動として、安全都市づくりを強力に展開することにしました。災害、事故のない、明るく住みよい安全都市実現するため、市民のみなさんご協力を願います。

安全都市推進委員会設立総会

まず、午後一時から二階大ホールに、市内宣公庁、関係団体、事業所代表など約三百人が参加して「室蘭市安全都市推進委員会」の設立総会を開き、市内各階層を含めた四百五十八団体による推進委員会の設立を万場一致できめたあと、交通、産業



水、火害、衛生など、あらゆる災害を防止して、明るく住みよい安全都市を強力にすすめることを確認しました。

【役員】

- ▽会長 室蘭市長
- ▽副会長 室蘭交通安全協会展長 北海道労働基準協会室蘭支部長
- ▽常任委員 58
- ▽監事 2
- ▽顧問 8
- ▽参与 8

【事業計画】

- ①安全都市標識塔の設置
- ②交通事故防止、災害防止、火災予防、衛生思想などの啓発宣伝
- ③産業安全デー、衛生デー、火災予防デーの設置
- ④春秋の清掃週間の設定

安全都市宣言市民大会

引き続き午後二時半から、同ホールで（雨で会場変更）盛大に安全都市宣言市民大会を開催しました。会場には表示看板とその両側に五つの大会スローガンが掲げられ参加者のほとんどが安全都市、交

市民大会スローガン

- 交通事故を絶無にしよう
- 産業災害を撲滅しよう
- 水害、火災を防止しよう
- 伝染病など病気を根絶しよう
- 暴力、犯罪を追放しよう

通安全のたすきをかけ、市長、議長、のあいさつ、のあと、市助役が高らかに安全都市宣言文を読みあげ万場拍手のうちに大会気運は最高潮に達しました。

このあと、労働大臣（代理）から産業安全旗、北海道知事（代理）から衛生安全旗、北海道公安委員長から交通安全旗がそれぞれ贈られ、来賓などの祝辞があつて、全員で「室蘭市安全都市」の万手を三唱し盛大に市民大会を終了しました

車のパレード

この日予定されていた市民大会パレードは、あいにくの雨で車輛のパレードだけに変更し、市民大会の終了をまわって、三台の消防車に産業、交通、衛生の安全旗を掲げ約五十台が参加して、蘭西・蘭東と道行く市民に安全都市を呼びかけました。

11月中旬～12月上旬の行事

- ▽14日～12月10日 新入学児童の受付と健康診断
- ▽18日 子どものための映画会、教育映画会
- 市民会館
- ▽5日～19日 基本選挙人名簿の縦覧
- ▽19日～24日 成人該当者調査
- ▽20日 市社会福祉大会
- 労働会館
- ▽21日 納税表彰式
- 労働会館

ふるつて傑作をお寄せください 伸びゆく室蘭の写真募集中

- ▶テーマ 伸張する室蘭の姿をあらゆる面からとらえた明るい写真
- ▶賞 1部（一般）推せん金1万円ほか
- 2部（高校生以下）金3千円ほか
- ▶しめ切り 11月2月末日
- ▶送り先 市庶務課広報係写真材料商組合加盟店へ

11月の納税 国民健康 保険税 6期分

◎納期は30日まで
市税は納期内に納めましょう

千才川(幌別)から日量4万8千トンを

上水道第4期拡張工事はじまる

20万人の給水確保で

二十万人の給水を確保するための上水道第四期拡張事業は、さる十月十日、登別町字札内の新浄水場建設予定地で起式が行なわれ、総工費十六億円、八年計画の拡張工事がスタートしました。



水源となる千才川

上水道四期拡張事業とは

この事業は、市の人口増と将来の発展にともなう給水量の増加にそなえ、いままでの給水人口十三万人(一人一日二百五十立)を昭和五十五年の推定給水人口十九万五千二百人として、一人一日平均二百八十立の給水を確保するため新しく登別町の千才川から日量四万八千トンを取水するものです。

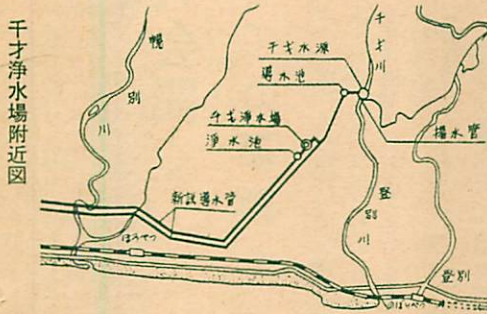
事業の内容は

水源は登別町の千才川で、谷あい約百十米の下を流れる千才川とクスリサンベツ川の合流点の近くに「取水設備」をして日量四万八千トンの原水を浄水場へ送ります。この原水のうち、まず二万トンを富岸来馬水源からの送水管に接続させて知利別浄水場に送って処理し、残り二万八千トンは、登別町札内に新しく浄水場(千才)をつくって処理し、各取水池から家

庭に送ることになります。これが完成しますと(昭和四十四年)市の配水量は、一日最大六万八千三百二十トン(一人一日最大三百五十立)が確保され、夏、冬の渇水期にも安心して、水が使えることになります。

拡張する施設は

【取水設備】千才川から取水のための取水堰、沈砂池、ポンプ場、導水池、揚水管などの新設
 【導水設備】二万トンの原水を富岸来馬からの送水管に接続させる導水管約十三軒の布設
 【浄水設備】二万八千トンの原水を処理する「千才浄水場」の新設と、チマイベツ、知利別両浄水場にろ過池の増設などの設備拡充
 【送水設備】浄水場からの送水管約二万五千米の新設
 【配水設備】水が家庭にくるまでの①市内の配水池、高区配水池



千才浄水場附近図

九か所 ②ポンプ場三か所 ③配水管(六百ミリ/百ミリ)約五万米の各新設などです。

ことしの工事は

初年度のごときは、用地買収などが難航し、着工が少し遅れましたが、工費三億七千六百万円で、千才川からの取水工事を重点に、新浄水場建設地点まで約二千三百米の道路新設工事、富岸までの導水管布設工事などで、らい年三月に富士鉄からの受水期間がされるため、七月頃までに、日量二万トンの原水を知利別浄水場に送って家庭に給水できるようにし、らい年夏の渇水期に合うように工

衣

外が寒くなっても、衣服のいちばん内側のはだ着と皮膚の間は安定して、温度三十二度、湿度四〇、六十パーセントくらいがふうです。さて、着るものがだんだんかさばてくると、コートに苦労します。ハンガーは少なくとも頭数の二倍用意しておきましょう。

くらしのしおり

食

秋の夜道に一ぱいのお茶は疲れをとり、心を休ませてくれます。お茶は、お茶の葉の分量とお湯の量と温度の加減がたいせつ

住

し使いはじめてから、どうも具合が悪いようだと思ふことがあります。修理に出すと代わりの器具に不便するから、まあしばらくはこのままで...という経験が一、二度はあるでしょう。そのうちに漏電とか、ガスもれ、不燃焼のための中毒など危険なことがおこり、大きな事故のもとになります。完全な器具を使いましょう。

事をすすめています。なお、上水道の拡張事業による基本計画はつきのとおりです。

水道事業基本計画

- △給水区域 市内全域(仲町、神代町、崎守町、香川町、石川町を除く)
- △給水人口 十九万五千二百人(昭和五十五年)
- △給水量 一人一日平均二百八十立、(最大三百五十立)
- △取水量 一日最大 七万四千九百トン
- △水源 チマイベツ川、ペトル川、富岸来馬川、鶯別川、千才川
- △浄水場 チマイベツ、知利別千才
- △送水管 四万九千七百六十五米
- △配水管 十二万七千七米

青少年科学館の建物完成

内部を充実してらい春開館



昨年から市立図書館横に建設をすすめていた「青少年科学館」の建物が、十月末完成しました。鉄筋づくり、地下一階、地上三階建て、総面積は二千六百十二、五平方米、工費約九千万円で、一階は展示室、ホール、作業室などのほか、棟つぎに温室があり、二階はドーム型のプラネタリウム室、生物、化学の実験室など、三階は各種産業資料の大展示室、児童図書室などで、近代感覚のデラックスな科学館です。

同建設事務所も館内に移り、内部施設の整備を急いでいますが、すでに理科実験器具、工作用具な

ど二千点が入り、またプラネタリウム本機一台の取り付けを終っており、そのほかの施設、ホールの大パノラマ（市内の交通模型）や寄贈展示品、工業都市にふさわしい産業の資料の展示品など、建物内部施設とも全道一の科学館として、子どもたちの科学の夢をいっばいに盛りこみ、らい春開館の予定で準備をすすめています。

また、同館付属温室の内部施設暖房も完備し、約二千点の植物が見事なほど葉や花をつけており、完備された温室内で育てられ、開館と同時にのみえしみます。

『町』は五以内の『丁目』で

蘭東地区 住居表示案まとまる

市が五年計画ですすめる。住居表示整備事業のうち、ことし実施する蘭東地区の新しい町界、丁目の表示基準案（別掲）がきまり、近く地元関係者の意見などを聞いて、市議会に提案することになりました。

基準案は、実施地区の①町界の沿革の人口、世帯数②町内界区域③児童通学区域④官公庁の所管などを考慮し、また町名地番整理審議会の意見を聞いてきめられており、今後は、地元のかたと説明会などで懇談し、意見を十分とり入れて、さらに検討し決定することになっています。

市の複雑な町と番地を整理し、合理的で、わかりやすい住居表示にするこの事業に、市民のみならずのご協力を願います。

新住居表示の実施基準

一 「町」の組織は、「丁目」でつくり、一つの丁目の大きさは学校、公園、大きな事業所を除いて、①商業地域は七ヘクタール、②住居地域は十三ヘクタール、③工業地域は十七ヘクタールを標準とし、これに、④商業地域は四百世帯、⑤住居地域は五百世帯を考慮しています。

二 「町」または「丁目」の境界は、道路、河川、鉄道などによることを原則としています。

三 「丁目」の数は五丁目以内、

四 「丁目」の順序は、南北防波堤間の中心を基点として最も近いところを一丁目とし、右廻り

の環状式に二丁目、三丁目……つけています。

◎官公庁、事業所の方へ
新しい住居表示事業の実施により、住所が変わることになります。集金や配達業務などでこの地区に関係ある官公庁、事業所の方には近く協議会を開き、事業内容を説明することになっていますので、官公庁、事業所名と、出席者名を市建設部都市計画課地番整理係（電話四一―の内線三一六）へご連絡ください。

町の呼び名を統一

「まち」6「ちよう」38に
市内の町名は、御崎町以西は大

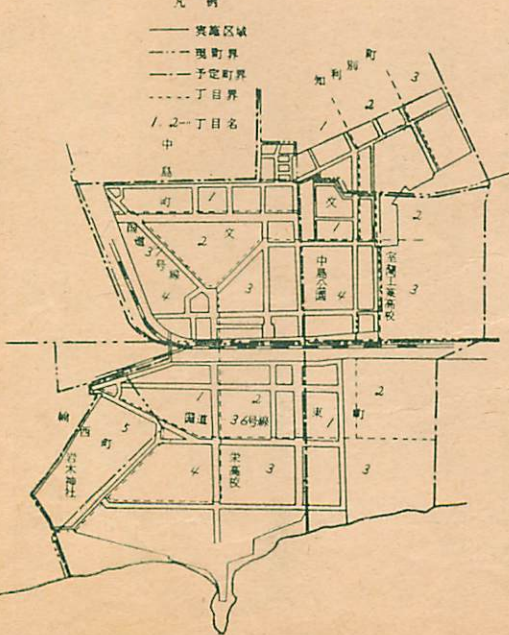
正十一年に、輪西町以来は昭和四年に改正したのですが、一部呼び方のまぎらわしい町名もありましたので、町名地番整理審議会で呼び名を「まち」は六町「ちよう」は三十八町に統一することにしました。

なお、みなさんのご意見などがありましたらお寄せください。

▽「まち」と呼ぶ町
大、母恋北、母恋南、東、陣屋仲町

▽「ちよう」と呼ぶ町
絵鞆、祝津（しゆくづ）、築地（つきじ）、小橋内、緑、西小路、港、沢、泉、暮西、海岸、浜、千才、常盤、清水、幸、本、菜、舟見、開運、公園、入江、茶津新富、御前水、御崎、輪西、高砂、水元、中島、知利別、高平、本輪西、神代、靱崩（ほろもえ）、崎守、石川、香川

新住居表示案による町界丁目区画図



子ども会めぐり

青空の下のびのびと

輪西青空子ども会



12

澄んだ青空の下でのびのびと活動をしたい...こんな願いからこの子ども会の名前がつけられ、現在会員は三四四名、十六班にわかれて元気に活動しています。

指人形など行事はたくさんありましたが、なかでも八月の子ども会盆踊り(写真)は、おとなりの杉の子子ども会と共催で行い、たいへんな人気でした。これからは12月、クリスマス大会、1月、カルタ大会、2月、反省会、3月、総会の予定です。



初入学児童の受付と健康診断14日から

来年四月、小学校に入學するお子さん(昭和三十一年四月二日から三十二年四月一日までに生れた人)の受付と健康診断を、つぎの日程でおこなっています。

当日ジフテリアの予防注射と種とうを行ないますので、母子手帳と代金百円を持参してください。なお、受付時間は、各校とも午後一時から三時半まで、健康診断は、身長、体重、視力、色補、歯の検査などです。

- 11月14日 陣屋小 15日 本室蘭小 16日 喜門倍小 19日 本輪西小 20日 高平小 21日 高砂小 22日 知利別小 26日 中島小 27日 日新小 28日 東園小 29日 大和 30日 大沢小 12月

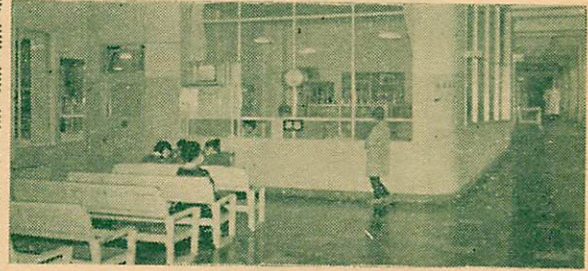
国保の届出は十日以内

国保被保険者のみなさん、正しい届出をしないために、保険税が多くなったり、病院などにかつても自己負担をしなければならぬようなことがおこさず、つぎの場合で資格を取得したり、失なったりしたときは、お忘れなく十日以内に届出をしてください。届出用紙は保険課、各支所、出張所にあります。

- 3日 天沢小(御崎町御前水町) 4日 天沢(3日以外の区域) 5日 朝陽小 6日 武揚小 7日 常盤小 10日 絵輪小

- 職場保険に加入、脱退したとき 生活保護の開始後三ヶ月経過したとき、または廃止されたとき お子さんが生れたとき、また家族が死亡したとき 市内で転居したとき 世帯主が変わったとき 助産費などの受給を 助産、葬祭費を受ける権利のある世帯で、支給を受けている

市立病院ご案内



新装なれる本院玄関ホール

診療科目

- 院長 拓殖重夫 副院長 塩沢直人 第一内科(藤兼和男) 第二内科(菅原庸雄) 呼吸器科 第一外科(新島昭二) 第二外科(木戸就一郎) 胸部外科 整形外科(平野広志) 耳鼻咽喉科(四方田孝) 小児科(宮内茂樹) 産婦人科(鈴木浩一) 皮膚泌尿器科(吉田久雄) 放射線科(方井卓四郎) 臨床検査室(吉田勝太郎)

- 精神神経科・内科 輪西診療所(原田一洋) 内科・外科 本輪西診療所(工藤和男) 入院患者病床数 一般 二三四床 結核 一三三床 精神 一〇〇床 伝染(常盤ヶ丘) 四〇床 外来患者受付診療時間 区分 受付 診療 午前 八・三〇至一・三〇 午後 四・〇〇至四・三〇 休 日 祝日 全日 土曜日及び手術の行われる科は午後からと、日曜日は全日休診。但し急患はいつでも受付。また精神神経科は毎週火曜日・四・〇〇・本院でも内科、外来で受付。

乳幼児相談を再開

乳幼児相談は、母子手帳が戸籍抄本、埋火葬許可証などの書類を持って保険課へおいでください。その場で支給いたします。

水道の故障は修理サービス月間実施中

税制展覧会を

市と道共催の税制展覧会を十二月四日から六日間、番百貨店(五階)で開催します。会場には、税のあゆみと制度、税金のゆくえなどを、ひとめでわかるように、図板、写真などで展示します。なお、会場で納税相談室を開きますので、気軽にご相談ください。

市民税特別徴収義務者のみなさんへ

所得税、道市民税関係法定資料の提出時期になりましたので、年末調整、給与支払報告書等の説明会を税務署、市、商工会議所共催で、つぎの日時に開きます。市民会館(いずれも十時から)

ご寄付ありがとうございました

- マザーズ・ホームへ 二万円 栗林ビル内ひまわり会 御前水中屋内体育館建築費に 一千万円 日鋼室蘭製作所 育英会へ 一万円 東ロータリクラブ 五万円 遠藤平治 二十万円 藤田健一 三万円 駒谷重幸